



## 2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 株式会社シイエム・シイ 上場取引所 東 名  
コード番号 2185 URL <https://www.cmc.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々 幸恭  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 杉原 修巳 TEL 052-322-3351  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第1四半期の連結業績（2023年10月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	3,672	△11.3	332	△45.5	157	△71.2	94	△73.4
2023年9月期第1四半期	4,141	14.5	609	57.3	546	26.3	356	18.3

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 95百万円 (△73.1%) 2023年9月期第1四半期 355百万円 (41.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	7.15	—
2023年9月期第1四半期	26.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	23,843	18,814	77.7
2023年9月期	24,746	19,222	76.5

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 18,532百万円 2023年9月期 18,941百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	0.00	—	44.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	10,000	△0.1	1,400	△21.6	1,450	△17.0	890	△24.1	67.13
通期	19,000	3.0	2,700	3.2	2,900	0.9	1,800	2.1	135.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期1Q	14,364,000株	2023年9月期	14,364,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	1,105,533株	2023年9月期	1,105,533株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期1Q	13,258,467株	2023年9月期1Q	13,243,752株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(会計上の見積りの変更) .....	10
(修正再表示) .....	10
3. その他 .....	11
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、情報を必要とする人へ“必要な時に、必要とする情報を、最適な方法で”届け、関わる皆さまの心動かす価値を提供するために、お客さま企業に寄り添うことで商材・市場・会社を深く理解し、お客さまの課題に合わせて情報を体系化することで、社会全体の情報価値向上サイクルの実現をめざしております。

中期経営計画では、「2030年に向け、人財を育てる、データを育てる」を基本方針としております。

当期は投資先行の期と位置付けており、主力・注力市場の環境変化に対応すべく、商材開発など成長戦略を着実に進めております。

当第1四半期連結累計期間は、案件の期ズレにより受注が集中した前年同期の実績に比して減少したことに加え、コストの上昇や一時的な営業外費用の計上もあり、前年同期比で減収減益となりました。なお、業績予想には変更はございません。

### ① 成長戦略への取り組み状況

市場戦略では、主力市場・注力市場のお客さま企業において、デジタル変革を推進する部門との共創活動を継続しております。また、お客さま企業の製品技術や修理に関する情報の利活用を実現するためのデータづくり、仕組みづくりを支援する取組みを強化しております。医療・医薬品市場では、「はぐふる(※1)」の取組みを強化し、ユーザーに寄り添い、ニーズを正しく理解することで、女性活躍・健康増進の課題に呼応した新事業の検討を進めております。

事業戦略では、社会やお客さま企業のニーズに応えるために、当社グループの知見を活用した業務効率化・働き方改革につながるサポートを継続的に推進しております。

当社グループが強みとする、「必要な時に、必要とする情報を、最適な方法で届ける」プラットフォーム構築を進めました。具体的には、「楽々エーミング(※2)」をはじめとする自動車整備DXの商材開発においては、M&A(※3)により獲得した自動車整備の現場を活用し、整備エンジニアやユーザーのニーズを把握するとともに、商材開発の企画・検証を加速させております。

「KAIZEN FARM(カイゼンファーム)(※4)」では、導入ユーザーのニーズに対応した有償機能の販売を開始するとともに、ユーザーの汎用的な課題に対応したパッケージの開発をさらに推し進め、ビジネスモデルの強化を進めております。

引き続き、情報価値のサステナビリティをめざし、継続的な企業価値向上と社会の持続可能な発展に貢献してまいります。

※1) はぐふる(子どもを育む医療・ヘルスケアの情報提供サイト)

<https://www.hug-full.com/>

※2) 「楽々エーミング」ニュースリリース

[https://www.cmc.co.jp/cms/wp-content/uploads/2022/04/oshirase\\_20220420.pdf](https://www.cmc.co.jp/cms/wp-content/uploads/2022/04/oshirase_20220420.pdf)

※3) 府中自動車株式会社の株式取得(連結子会社化)に関するお知らせ

[https://www.cmc.co.jp/cms/wp-content/uploads/2023/08/oshirase\\_20230810.pdf](https://www.cmc.co.jp/cms/wp-content/uploads/2023/08/oshirase_20230810.pdf)

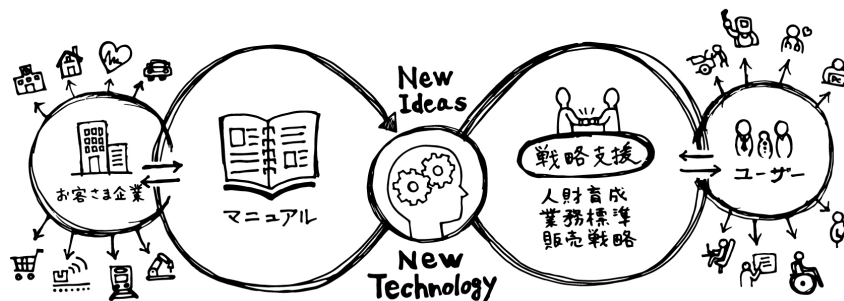
※4) KAIZEN FARM公式サイト <https://kaizenfarm.jp/>

② 全般的概況

(事業の概要)

[Manuals&Knowledge事業]

情報を必要とする人へ“必要な時に、必要とする情報を、最適な方法で”届け、ユーザーエクスペリエンス(顧客体験価値)の最大化を図るために、お客さま企業の商材・市場・会社を深く理解し、お客さまのニーズに合わせて情報を体系化することで、社会全体の情報価値向上サイクルの実現をめざしております。



当社グループは、事業分類として以下の3つに分類しております。

事業分類	事業内容
Manuals	お客さま企業の商材・市場・会社を深く理解し、利活用の目的(例えばリアルからデジタルコンテンツへの転用など)に合わせて情報を体系化するサービスを提供。
Knowledge	情報を必要とする人のシーンに応じて、最適な先端技術を活用し、ユーザーエクスペリエンス(顧客体験価値)の最大化を図るサービスを提供。
その他	各種ソフトウェアのライセンス販売など。
(ご参考)	
国内市場向け	国内市場向けの商材・サービス。
海外市場向け	海外市場向けの商材・サービス。

これらを踏まえ、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりであります。

事業分類別の状況

科目	前第1四半期 連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)		当第1四半期 連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)		前年同期比		主な増減理由
	金額 (百万円)	売上高 構成比率 又は 利益率	金額 (百万円)	売上高 構成比率 又は 利益率	金額 (百万円)	増減率	
売上高	4,141	100.0%	3,672	100.0%	△469	△11.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>Manuals領域においては、案件の期ズレにより受注が集中した前年同期の実績に比して減少。</li> <li>Knowledge領域においては、デジタル化ニーズの対応施策が計画通りに推移。</li> </ul> (ご参考) <ul style="list-style-type: none"> <li>アジア地域(特に中国)の市場環境変化の影響により、海外市場向けの受注が減少。</li> </ul>
Manuals	2,269	54.8%	1,768	48.2%	△500	△22.0%	
Knowledge	1,835	44.3%	1,857	50.6%	+21	1.2%	
その他	36	0.9%	45	1.2%	+9	25.1%	
(ご参考)							
国内市場 向け	1,801	43.5%	1,664	45.3%	△137	△7.6%	
海外市場 向け	2,340	56.5%	2,007	54.7%	△332	△14.2%	
営業利益	609	14.7%	332	9.1%	△277	△45.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業利益においては、売上高減少およびコスト上昇により減益。</li> </ul>
経常利益	546	13.2%	157	4.3%	△389	△71.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>経常利益においては、過年度の製品補償発生(※)に伴う営業外費用を計上し減益。</li> </ul>
親会社株主に帰属 する四半期純利益	356	8.6%	94	2.6%	△261	△73.4%	

※「取扱説明書の記載不備に伴う損失の発生について」(2024年1月17日開示)

[https://www.cmc.co.jp/cms/wp-content/uploads/2024/01/oshirase\\_20240117.pdf](https://www.cmc.co.jp/cms/wp-content/uploads/2024/01/oshirase_20240117.pdf)

当第1四半期連結累計期間では、データの蓄積を進めるための投資を継続いたしました。戦略的な選択と集中を意識し、取組みを推進してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より903百万円減少し、23,843百万円(前連結会計年度末比3.7%減)となりました。これは主として、棚卸資産の増加333百万円、有価証券の増加284百万円があったものの、現金及び預金の減少687百万円、受取手形及び売掛金の減少795百万円によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末より495百万円減少し、5,028百万円(前連結会計年度末比9.0%減)となりました。これは主として、流動負債のその他の増加180百万円があったものの、未払法人税等の減少348百万円、賞与引当金の減少306百万円によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末より408百万円減少し、18,814百万円(前連結会計年度末比2.1%減)となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加94百万円があったものの、剰余金の配当による利益剰余金の減少503百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期における連結業績予想につきましては、2023年11月10日に公表した「2023年9月期決算短信」の数値から変更は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,538,248	12,850,937
受取手形及び売掛金	3,021,829	2,226,147
電子記録債権	167,692	252,755
有価証券	—	284,595
棚卸資産	1,081,936	1,415,337
その他	288,483	285,551
貸倒引当金	△120	△25,199
流動資産合計	18,098,069	17,290,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	617,683	608,544
機械装置及び運搬具(純額)	116,714	110,809
土地	2,559,870	2,559,870
その他(純額)	230,011	213,892
有形固定資産合計	3,524,280	3,493,118
無形固定資産		
のれん	115,283	115,283
ソフトウェア	273,241	248,409
その他	52,580	67,544
無形固定資産合計	441,106	431,237
投資その他の資産		
その他	2,683,121	2,628,595
貸倒引当金	△71	—
投資その他の資産合計	2,683,050	2,628,595
固定資産合計	6,648,437	6,552,950
資産合計	24,746,506	23,843,075



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,120,608	1,014,216
短期借入金	80,120	62,035
未払金	157,269	262,841
未払費用	324,713	356,147
未払法人税等	387,598	38,849
賞与引当金	551,030	244,035
役員賞与引当金	68,564	19,307
契約負債	279,947	302,163
その他	512,759	693,686
流動負債合計	3,482,610	2,993,282
固定負債		
長期借入金	309,685	309,685
役員退職慰労引当金	14,175	14,775
退職給付に係る負債	1,358,545	1,342,601
その他	358,973	368,367
固定負債合計	2,041,379	2,035,428
負債合計	5,523,989	5,028,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	657,610	657,610
資本剰余金	673,591	673,591
利益剰余金	18,348,015	17,938,972
自己株式	△1,270,575	△1,270,575
株主資本合計	18,408,641	17,999,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	343,138	320,623
為替換算調整勘定	263,472	277,878
退職給付に係る調整累計額	△73,328	△65,326
その他の包括利益累計額合計	533,282	533,175
非支配株主持分	280,593	281,589
純資産合計	19,222,517	18,814,363
負債純資産合計	24,746,506	23,843,075

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	4,141,787	3,672,249
売上原価	2,538,340	2,403,357
売上総利益	1,603,447	1,268,892
販売費及び一般管理費	993,455	936,543
営業利益	609,991	332,348
営業外収益		
受取利息	199	3,938
受取配当金	3,652	4,164
受取保険金	24,867	12,804
作業くず売却益	2,718	3,033
補助金収入	1,861	—
その他	7,901	14,455
営業外収益合計	41,201	38,397
営業外費用		
支払利息	375	265
為替差損	101,749	66,952
固定資産除却損	1,366	453
支払補償費	—	129,070
その他	1,105	16,687
営業外費用合計	104,597	213,428
経常利益	546,595	157,317
特別利益		
固定資産売却益	1,700	1,042
その他	—	71
特別利益合計	1,700	1,113
特別損失		
関係会社清算損	—	1,404
特別損失合計	—	1,404
税金等調整前四半期純利益	548,296	157,026
法人税、住民税及び事業税	44,368	15,489
法人税等調整額	129,744	47,063
法人税等合計	174,113	62,553
四半期純利益	374,182	94,472
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	18,157	△306
親会社株主に帰属する四半期純利益	356,025	94,779

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	374,182	94,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,336	△22,515
為替換算調整勘定	△1,849	15,708
退職給付に係る調整額	54	8,002
その他の包括利益合計	△19,132	1,195
四半期包括利益	355,050	95,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	337,545	94,672
非支配株主に係る四半期包括利益	17,505	995

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。